



株式会社ベネッセコーポレーション東北事業所

株式会社ベネッセコーポレーションは、昭和30年創業で、企業理念である「Benesse =よく生きる」の実現に向けて、人の向上意欲と課題解決を支援するため、教育・語学・生活・介護の領域で事業を展開しています。

所在地：仙台市青葉区一番町4-6-1-20F
連絡先：022-263-0351

株式会社ベネッセコーポレーションでは、平成16年11月に本社及び各事業所において、ISO14001の認証を取得しました。全社員に環境方針などを盛り込んだ小冊子を配るとともに、毎年、Webによる社内研修を行うことにより、社内全体で環境意識を共有しています。

コピー用紙の使用量については、平成19年度を基準に平成22年度までに1人あたり10%削減を目標に掲げています。配布資料を減らすため、会議等でのプロジェクターの使用やコピー・出力の際には、1枚に複数ページを印刷・出力する機能を積極的に活用するなど、目標達成に向けて取り組んでおり、削減が進んでいます。

また、ごみの分別及び不要な電気の消灯については、フロア活動チェックシートにて、毎月、細かくチェックを行っています。点検者を環境担当部署以外にも割り当て、当事者意識を醸成するなど、活動を推進するための工夫を凝らしています。

事業活動では、環境への負荷を減らすことにとどまらず、「プラスの環境活動」として「環境教育」の実践に力を入れており、数百万人の進研ゼミ会員をはじめとする多くのお客様に環境に関する正しい情報を届けています。平成20年度からは、環境啓発活動「エコプロジェクト」を開始し、幼・小・中・高校生を対象とした「環境コンクール」や「かんきょう紙芝居」を通じた教育など、様々な活動を行っています。

さらに、資材の有効利用のため、事業所入口に不要となった学習教材のビデオテープを回収する専用BOXを設置し、ビデオテープのリサイクルを行っています。



環境についての内容が盛り込まれた書籍類



整理整頓された分別コーナー

ビデオテープ回収BOX

担当者の声



「環境教育を推進する事業内容の特性から、社員にも環境に対する意識が浸透しており、社内での取り組みに対しても、積極的なメンバーが多いです。」(総務部 千葉さん【写真右】、佐伯さん)



株式会社三越仙台店

株式会社三越は、1673年(延宝元年)に呉服店「越後屋」として創業しました。仙台店は、昭和8年に開業し、今年で77年目になります。昨年、新たに「定禅寺通り館」をオープンし、商品の充実を図っています。

所在地：仙台市青葉区一番町4-8-15
連絡先：022-221-8363

三越仙台店では、独自の取り組みとして、外壁の店名ロゴのディスプレイやエスカレーターの昇降口、衣料品の試着室など、館内の一部に省エネで長寿命のLED照明を導入しています。従来のハロゲンライトやスポットライトに比べ、放射熱による熱のこもりの解消にもつながり、お客様により快適に利用していただけになりました。また、エレベーターホールなど、不要な照明の間引きも行っています。

8階のレストランでは、リユースできる塗箸を使用しています。導入前に比べ、年間約300kgのわりばしを削減することができました。

また、簡易包装に関しては、販売員用マニュアルの活用により、「用途に合った包装をご提案する」スマートラッピングの呼びかけを徹底し、お客様のご協力をいただいております。

さらに、業務上、発生する生ごみの水切りの徹底を進めています。食品関係店舗では、アルバイトやパートタイマーなどのスタッフが流動的なため、ルールを伝達・定着させることが難しい面もありますが、根気強く、繰り返し伝えていくことに努めています。

社員の環境に対する意識は非常に高く、従業員エレベーターには、自然に目が向け階数表示近くに環境行動を促進する掲示を行うとともに、照明の消し忘れを防ぐため、倉庫の電灯を取ってプルスイッチに切り替え、また、週に一度、地域貢献の一環として店舗周辺の清掃を行うなど、環境に対して自発的に取り組むという習慣が根付いています。



従業員用エレベーターの啓発掲示



エスカレーター昇降口の上部に設けられたLED照明

エレベーターホールの間引きされた照明

担当者の声



「環境活動としてできる部分は、ほぼやりつくした感がありますが、なお一層の仕掛けと継続して進めるための方策の検討が必要だと考えています。」(業務・庶務担当課長 渡辺さん【写真中】、㈱三越環境ビル管理 寺嶋さん【写真左】、赤間さん)



スターバックス コーヒー 仙台クリスロード店

スターバックスは、昭和46年にアメリカ北西部のシアトルにコーヒー豆専門店として誕生しました。平成7年にスターバックスコーヒージャパン株式会社が設立され、仙台には、平成12年に1号店がオープンしました。

所在地：仙台市青葉区中央2-5-3
連絡先：022-265-6610

スターバックスでは、「地球への約束」である「シェアード プラネット」という理念を世界に向けて発信しています。この理念は、平成27年までに達成したいゴールとして、①倫理的な調達、②環境面でのリーダーシップ、③コミュニティへの貢献の3本の柱からなっており、環境面では、地球と人にやさしい店づくりを目指して、環境への負荷を低減する様々な取り組みを行っています。

資源節約の面では、オリジナルタンブラーなどの販売を積極的に行うとともに、マイカップやタンブラーをご持参いただくと、20円の値引きを行っています。また、コーヒー豆を100gから量り売りし、ご購入の際にコーヒーバッグなどを持参いただくと、スタンプの数に応じてお好みのコーヒー豆と引き換えができるスタンプを1つサービスしています。

お持ち帰り用には、環境配慮型のペーパーバッグ(紙袋)を使用しています。環境保全の観点から適切に管理された森林に由来した木材を使用し、また、有害な廃液を出さない水性インクで印刷しています。表面には、バッグの繰り返し利用やブックカバーとしての活用、使用後のリサイクルを呼びかけるメッセージを記載するなど取り組みを進めています。

また、店舗の目印として点灯するレターサイン(看板)には、蛍光灯や電球に比べ、省エネで長寿命のLED照明を採用しています。

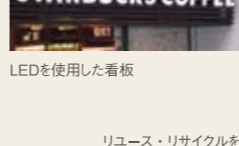
さらに、店内で多量に発生する牛乳パックについては、洗浄・水切りを行い、委託業者により紙にリサイクルされています。



LEDを使用した看板



店内でも配布している小冊子「シェアード プラネット」



リユース・リサイクルを呼びかける紙袋

担当者の声



「環境にやさしい店づくりとスターバックスだからこそできる環境に配慮したライフスタイルの提案を今後も行っていきます。」(ストアマネージャー 沖井さん)



株式会社カーリーナ

株式会社カーリーナは、主に仙台市内を中心に、「DUCCA」などの飲食店14店とフレンチショップ1店を展開しています。食材豊かな東北の地で、新鮮で安全な食材を使い、地産地消の実現を目指しています。

所在地：仙台市青葉区国分町1-8-14-5F
連絡先：022-268-4695

株式会社カーリーナでは、社員一人ひとりが環境問題について考え、そして環境活動を行い、環境保全、社会貢献できる企業になることを目指し、平成20年9月に東北のレストラン業としては初となるISO14001の認証を本部及び各店舗において取得しました。本部及び各店舗では、廃棄物の排出抑制やCO₂排出量の削減(電力の削減)、省資源(水・ガスの削減、食材の適正使用)等について、目標を設定し、進捗状況もきめ細かく管理しています。また、入社した社員やアルバイトには、環境教育を行い、環境意識の向上に努めています。

各店舗では、多量に発生する生ごみと廃食用油のリサイクルに積極的に取り組んでいます。委託業者により、生ごみは堆肥に、廃食用油はバイオディーゼルの燃料(軽油代替燃料)にそれぞれリサイクルされ、有効利用されています。

また、わりばしの削減に向けて、塗箸への変更にも取り組み始めています。現在、3店舗で導入していますが、今後、徐々に拡大していきたいと考えています。

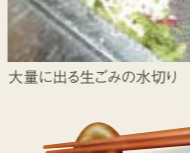
さらに、飲食店という特性から、多量に発生する使用済みメニュー表(おすずめや日替わりメニュー)をコピーやファクシミリの際に裏面使用するなど、紙類の使用量抑制、再利用の促進に取り組んでいます。



大量に出る生ごみの水切り



メニュー表等の裏面使用の徹底



導入中の塗箸

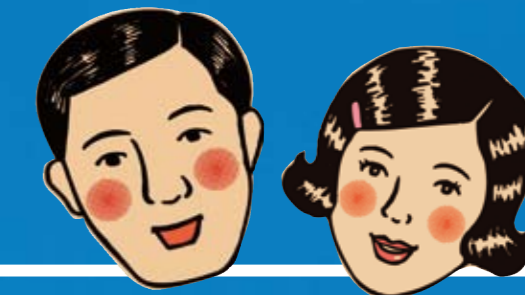
担当者の声



「多数の飲食店を経営しているため、生ごみは常に大きな課題となっています。どうしても発生してしまう生ごみは、可燃ごみとの分別と水切りの徹底を心がけ、リサイクルに回しています。」(経理部 菊地さん)

百貨店業を通じた環境改善への取り組み

お客様の健康と環境への配慮の両立に向けて



3R

Reduce + Reuse + Recycle

事例集 Vol.4



ごみ減量・リサイクルは、環境に配慮した取り組みの第一歩です。

仙台市では、環境負荷が低減される循環型社会の構築を目指して、「100万人のごみ減量大作戦」を展開しております。

その一環として、ごみ減量・リサイクルなど、環境に配慮した事業活動を行っている店舗・事業所を「エコにごショップ(環境配慮型店舗)」「エコにごオフィス(環境配慮型事業所)」として認定し、積極的に応援しています(認定件数(平成22年2月末現在):エコにごショップ 324店舗、エコにごオフィス 305事業所)。

認定店舗・事業所の先進性・独自性のある取り組みから、その企業としての環境・社会貢献活動まで、事例を紹介いたします。



掲載店舗・事業所	●新港リサイクル株式会社	2頁	●株式会社ベネッセコーポレーション東北事業所	4頁	
●篝火の湯緑水亭	●ジャスコ仙台中山店		●株式会社三越仙台店		
●東北電力株式会社	1頁	●株式会社すてーはうす伊勢屋(エスパル店)	3頁	●スターバックス コーヒー 仙台クリスロード店	5頁
		●協業組合仙台清掃公社		●株式会社カーリーナ	

仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会事務局 (仙台市環境局リサイクル推進課内)

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17 小田急仙台ビル10階

TEL.022-214-8230 FAX.022-214-8840 [ワケルネット http://www.gomi100.com](http://www.gomi100.com)

これまでに紹介した店舗・事業所(バックナンバー)、認定申請等の詳細については、ワケルネットをご覧ください。



篝火の湯緑水亭

篝火の湯緑水亭は、昭和39年創業の株式会社秋保国際ホテルが運営する旅館です。秋保温泉の中で最も高台に位置するとともに、3万坪の日本庭園があり、「眺める」贅沢を堪能することができます。

所在地：仙台市太白区秋保町湯元上原27
連絡先：022-304-9611

篝火の湯緑水亭では、若女将の声がけにより環境への取り組みがスタートしました。

平成19年2月、初めに取り組んだのが、廃食用油のリサイクルです。ろ過した廃食用油は、通所施設「わ・は・わ広瀬」に製造を依頼し、「緑水亭オリジナル おかみのエコせっけん」として生まれ変わります。館内売店にて販売しており、使用用途が多く、環境にやさしいと大変好評をいただいております。

平成19年10月からは、朝食バイキングと夕食で使用していたわりばしを塗着に変更しました。この結果、年間約14万膳のわりばしが削減でき、木材資源の節約に繋がりました。

すべての客室には、「もえるゴミ」用と「ビン・カン」用の2つのごみ箱を備え付け、お客様に分別のご協力をお願いしています。また、日持ちが短い一輪挿しを竹炭アートに替えることにより、ごみ減量にも寄与しています。

さらに、仲居さんが着用している和服のリサイクルにも取り組み始めています。使用可能な部分の生地や帯を利用し、社員が手作りで敷物や巾着、手つけ鞆、エプロンなどにリサイクルしています。現在は、客室などで敷物としての使用がほとんどですが、今後は、巾着をお客様にプレゼントするなど、お客様にも喜ばれる活用策を検討しています。



客室の分別ごみ箱



和服をリサイクルした巾着など



竹炭アート

担当者の声



「事務室では、依然としてコピーミスが多いなどの課題があります。今後は、トップダウンではなく、社員自らがアイデアを出し合い、環境に配慮した旅館づくりを進めていきたいです。」(総務課 小井田さん)



東北電力株式会社

東北電力株式会社は、東北6県と新潟県に電気を中心とした最適なエネルギーサービスを届けている会社です。創業以来、「東北の発展となって当社の発展なし」という考えのもと、電気の安定供給、環境適合、経済性の同時達成を目指し、様々な活動を行っています。

所在地：仙台市青葉区本町1-7-1
連絡先：022-799-6153

東北電力株式会社本店ビルは、環境と調和する仕組みや徹底した省エネルギー及び負荷平準化により、環境負荷を軽減させた環境共生型高層ビルとなっています。例えば、太陽光発電設備や省電力照明器具の設置、外気や自然光を活用した空調、屋内照明のコントロールや人感センサーによる照明の自動点滅制御、また、夜間に熱エネルギーを蓄えて昼間の冷暖房に利用する蓄熱式空調システムを採用しています。さらに、手洗い水などの雑排水や雨水を処理し、トイレの便器洗浄水として再利用するなど、水資源の節約も行っています。

平成19年5月からは、本店ビルオフィスの環境負荷のさらなる低減を図ることを目的として、本店3R・eアクション活動(3R: Reduce, Reuse, Recycle / 3e: Energy, Environment, Economy)を展開しています。オフィスから発生する廃棄物の最終処分量の削減や省エネルギー活動について、重点項目を設定し、年度の上期・下期ごとに活動実績を取りまとめ、取り組みを推進しています。

社員食堂では、業者の協力によりマイ箸の販売やわりばしレス弁当(5円引き)の販売を行っています。また、各階に設置した食品残渣回収容器で、茶からやコーヒーなどの生ごみを回収して、堆肥にリサイクルしています。

さらに、運輸部門におけるCO₂削減への寄与を目的として、平成21年度に青森県、宮城県、新潟県の事業所に業務用車両として電気自動車1台、プラグインハイブリッド車(電気自動車としてもハイブリッド車としても走行可能)を10台導入しました。今後は、自動車メーカーの開発動向を踏まえながら、導入していきたいと考えています。



空調システムパネル



中水処理システム



ひと目で分かる分別コーナー

担当者の声



「本店3R・eアクション活動により、本店ビルにおける省資源・省エネルギー活動を推進していきます。」(環境企画グループ 阿部さん【写真右】、松田さん)

省エネルギー・省資源・省CO₂



新港リサイクル株式会社

新港リサイクル株式会社は、JFE環境グループに属し、仙台市が分別収集しているプラスチック製容器包装や廃蛍光灯・廃木材のリサイクル等を行っています。

所在地：仙台市宮城野区港1-20-5
連絡先：022-258-5931

限りある資源の大きい活用

新港リサイクル株式会社は、「プラスチックは地球の宝 一人ひとりがリサイクル」をコンセプトに、プラスチック製容器包装リサイクルのための3つの処理行程(選別・ペール化(圧縮梱包)、再生処理、最終製品製造)を同一敷地内で一貫実施する全国的にも珍しい工場の1つです。同事業では、仙台市の各家庭から排出されたプラスチック製容器包装を原料に、輸送用のパレットを製造しています。1ヶ月あたりの生産量は26,000～28,000枚のほり、製品は環境にやさしいエコマーク付きで、一般の素材と比べても同程度の強度があり、しかも低価格で提供されています。

JFE環境グループでは、平成10年11月に社長名による環境方針を宣言し、JFE環境株式会社仙台プラスチックリサイクル工場当時の平成13年12月、ISO14001の認証を取得しました。

事業を行う上で欠かすことのできない工業用水は、使用後、独自の排水処理施設で処理・再利用することで、水リサイクル率90%を達成しています。

また、社員の環境に対する意識は、資源の有効活用を目指す業種であることから非常に高く、事務室における紙の分別・再使用の徹底、環境保全のための港地区の清掃活動などを行っています。

さらに、プラスチック製容器包装の正しい分別等の理解促進を図るため、仙台市の環境施設見学バス(ワケルくんバス)を利用した一般市民の見学を積極的に受け入れています。



ペール化されたボトル系プラスチック



完成したばかりのパレット



プラスチック製容器包装の手選別作業

担当者の声



「プラスチック製容器包装のリサイクルのポイントは、分別精度の向上と汚れの低減です。排出者である市民の理解と協力を得ることが重要であり、その問題をいかに解決するかが今後の大きな課題です。」(工場長 佐々木さん)



ジャスコ仙台中山店

ジャスコ仙台中山店は、イオンリテール株式会社が運営している総合スーパーです。イオングループでは、社会貢献活動と環境保全活動を積極的に推進しています。

所在地：仙台市泉区南中山1-35-40
連絡先：022-303-1300

地域と取り組むごみ減量・リサイクル

ジャスコ仙台中山店では、平成19年10月から市民団体及び仙台市との3者協定により、レジ袋の有償提供を開始しました。2年以上が経過し、お客様にも浸透した結果、レジ袋の削減率は85%程度まで上昇しています。これら買物袋持参運動の成果は、店内に掲示し、お客様に公表するとともに、レジ袋の有償提供に伴う収益金の1/2を店舗が所在地域の環境保全活動などへ、残りの1/2は、CO₂排出権を購入して政府へ寄付しています。

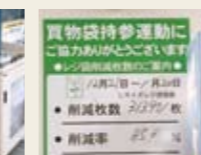
食品トレイ、アルミ缶、紙パック、たまごパック(とうもろこしやさとうきびを原料とするバイオマス包装資材を含む)などの店頭回収も積極的に実施しています。回収したアルミ缶や紙パックは、トップブリュ共環宣言(リサイクル・クリーン・ナチュラルの視点で開発した商品ブランド)の原料の一部に使用し、循環型社会の構築に向けた取り組みを積極的に進めています。

また、お客様の声から生まれた、箱に入っていないティッシュペーパーの販売を行っています。外箱がありませんが、そのままでも使用可能となっております。紙資源を節約し、価格を抑えた商品となっております。別売りの専用ケースを購入し、詰め替え用として使用することも可能です。

さらに、社員がリーダーとなり、地域の子どもたちと環境についての体験や学習をするイオンチアアースクラブを実施しており、今年度は、植樹体験を行うなど、子どもたちへの環境教育と健全な育成をサポートしています。



店頭回収コーナー



レジ袋削減枚数の案内



外箱のないティッシュペーパーと専用ケース

担当者の声



「店頭回収では、異物の混入も少なくありません。今後も、循環型社会の構築を目指し、地域の皆様とのパートナーシップを育んでいくことが重要だと考えています。」(副店長 内田さん)



株式会社すてーきはうす伊勢屋(エスバル店)

株式会社すてーきはうす伊勢屋は、昭和43年の創業以来、ステーキには厳選された仙台牛を使用するなど、地元の食材を活かした店です。

所在地：仙台市青葉区中央2-7-30-601
連絡先：022-221-2747(事務所)

環境にやさしい食を考える

すてーきはうす伊勢屋エスバル店が入居している仙台ターミナルビルでは、生ごみはビル全体で回収し、堆肥にリサイクルしています。店では、生ごみの水切りを徹底するとともに、とうもろこしのでんぷんを原料とした爪楊枝を使用し、生ごみに混入して排出されても、生ごみのリサイクルには影響が出ないように配慮しています。

箸は、数年前に、わりばしから耐久性のあるPBT樹脂製のリサイクル箸に変更しました。適度な重さで使い心地に定評があり、また、木肌をイメージした地紋を施すなど、細部にもこだわっており、店頭での販売も行っていきます。

使用後のステーキの鉄板やフライの皿などの食器は、洗う前に拭き取りや予洗いを済ませてから本格洗浄を行い、水を節約するとともに、店で使用した水は、貯水槽で微生物により分解処理し、環境負荷が小さい廃水としています。

食材に関しては、地産地消という言葉が使われる前から、仙台牛はもちろんのこと、郷土の海の幸・山の幸をふんだんに使用し、お客様に提供してきました。

さらに、地域貢献の一環として、市内外から多数の小・中学生の校外学習を受け入れています。食を通じた環境への配慮や地産地消の考え方、調理方法など、今後の学習に役立てていただけるように積極的に協力しています。



地産地消を謳った店構え



リサイクル箸



生ごみの水切りを徹底

担当者の声



「環境への意識は、社員一人ひとりに浸透しています。成功した秘訣は、新しく入ったスタッフに徹底的に教え込んだことです。それが当たり前だと思って仕事をしてくれるので、他のスタッフにもよい刺激になりました。」(代表取締役社長 松坂さん)



協業組合仙台清掃公社

協業組合仙台清掃公社は、昭和44年にし尿の汲み取り業者として創業以来、廃棄物処理事業はもとより、早くから再資源化事業に取り組んでいます。

所在地：仙台市宮城野区日の出町1-7-15
連絡先：022-284-5383

「ごみ」から、貴重な「資源」へ

協業組合仙台清掃公社では、平成16年9月に環境方針を策定し、①廃棄物の削減及びリサイクルの推進「40up/40thプロジェクト」、②省資源、③省エネルギー、④化学物質の適正管理、⑤グリーン購入の推進を目標に掲げてきました。40up/40thプロジェクトとは、創立40周年に向けた5ヶ年計画の経営ビジョンで、40周年を迎える平成21年までに、収集している廃棄物のリサイクル率40%以上(重量ベース)を目指したものです。

平成17年3月には、本社において、みちのくEMS(みちのく環境管理規格)の認証を取得しました。環境保全推進体制を確立するとともに、ミックスペーパー及びプラスチック、缶・びん・ペットボトル等の分別を積極的に行い、リサイクルを推進しています。

また、様々な再資源化事業に取り組んでいます。仙北事業所では、平成13年からマテリアルリサイクルが困難な廃プラスチック類や古紙を原料として、新たな固形燃料(RPF)を製造しており、化石燃料の代替として注目されています。また、リサイクル推進事業所では、平成17年から廃棄された食用植物油を原料として軽油代替燃料(B-ENERGY)を製造しており、パッカー車13台に燃料として活用しています。さらに、仙台市内の事業所からの生ごみを堆肥化施設に搬入し、良質な有機肥料を製造しています。これらにより、廃棄物抑制や資源の有効利用に貢献しております。

本社内には、最新の設備が整った環境計量室を設置し、環境測定・分析、研究開発を行い、様々な情報提供も行っていきます。



ミックスペーパー・プラスチックの詳しい分別表



リサイクル実施品紹介パネル



廃食油リサイクル工場

担当者の声



「40up/40thプロジェクトで目標として掲げたリサイクル率40%の達成に向け(平成22年2月現在:36%)、あらゆる場面で限りある資源の有効利用に取り組みしていきます。」(営業課長 黒澤さん【写真左】、総務課 堀田さん)